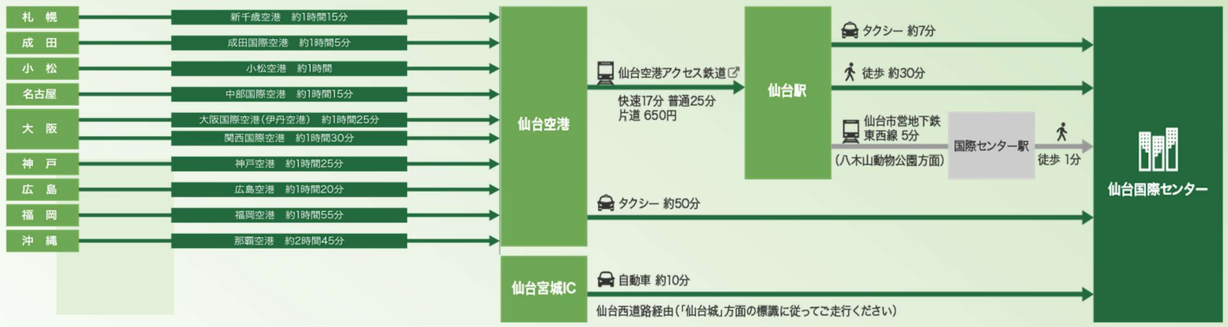
会場のご案内

交通アクセス

仙台国際センターは、「会議棟」「展示棟」で構成され、一体利用することで 6,000 人規模の大規模催事が開催可能な国際コンベンションセンターです。　また、仙台駅から市営地下鉄東西線により「国際センター駅」下車、乗車時間５分と大変便利です。



大会会場 ：

- ✓ 仙台国際センター (http://www.aobayama.jp/)

登録費 ：

- ✓ **36,000円**

ホテル ：

- ✓ 様々なホテルがウェブサイトを通じて予約することができます。 特別グループ料金（税金、サービス、朝食含み）は、経済的なホテルの場合は1万円弱から、高級ホテルで4万円以上となります。

仙台観光案内 ：

- ✓ 仙台 国際観光協会
  TEL: 022-268-9603 FAX 022-268-6252, Mail: incentive@sentia-sendai.jp
  http://www.sentia-sendai.jp/conventionnavi/

お問い合わせ先 ：

- ✓ 山本剛史郎, ホストコミッティー（実行委員会）事務局長
  Mail: goshiro@fa2.so-net.ne.jp

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区・西日本区

ワイズメンズクラブ国際協会

第 28 回
アジア太平洋地域大会

― Action！前へ進もう ―

. 松島（写真提供：宮城県観光課）

2019 年 7 月 19 日(金)～21 日(日)

会 場 ：仙台国際センター

仙台2019
SENDAI JAPAN
28th Asia Pacific Area Convention

AYC（地域ユースコンボケーション）
7 月 17 日（水）～21 日（日）
会場：KIBOTCHA（旧野蒜小学校 ）

東日本大震災・津波被災地への支援活動例

緊急避難所支援

食料支援

津波の教えの石の除幕式

イチゴ農場でのボランティア

ごあいさつ

Edward Ong
第 28 回アジア太平洋地域大会委員長、元アジア地域会長

数年前に韓国が新たに”韓国地域”を立ちあげ“アジア地域”を離れたことにより、“アジア地域”は大幅に縮小してしまいました。しかし、３年前に私たちの地域にオーストラリアが加わり、新たに“アジア太平洋地域”として活動を開始致しました。

そして、2017 年には、タイのチェンマイで素晴らしい大会が行われ、本年は、仙台において多くの会員とその家族が集まれることを楽しみにしています。

私たち大会実行委員会では、参加をされる皆さまにとって、意味深くエキサイティングなプログラムの構築に向け、最善を尽くしております。本大会では、文化の理解を深め、歴史の価値を再認識し、地元の料理を楽しみ、素敵な思い出を持ち帰ることできます。このため、帰国後、再び家族や仲間と思い出を語り楽しむことがきるでしょう。

また、古い友との再会と、新しい友との交わり、さらに兄弟クラブとの交流などにより、ワイズについて深く学ぶことのできる良い機会となるはずです。

滞在期間を延長することで、郊外や大都市を訪問することも可能です。

どうぞ、あなたのクラブにおいて、大会出席への計画作りを始めてください。ご一緒しましょう。

田中博之
2018-2020 アジア太平洋地域会長

2011 年 3 月 11 日、日本の東北沿岸地域を、マグニチュード 9.0 という未曽有の規模の地震、そしてそれに続く最高 40m に及ぶ大津波が襲いました。2 万人近くが亡くなり、未だ 2,500 人以上が行方不明となっています。

今回の大会は、その大震災の中心都市であった仙台で開催されます。提案を受け入れていただき、大会の企画・準備に尽力いただいている東西日本区に感謝申しあげます。

大会のハイライトのひとつは、被災地を巡る丸一日のツアーです。あの日から８年経って、被災地がどのように復興しているか、これからの課題は何かを目の当たりにしていただきたいと思います。

アジア太平洋地域はさまざまな自然災害が度重なって発生しています。この大会が、災害時にワイズメン・ウイメン、そしてワイズメネットとして何ができるかあるいはワイズメンズクラブと YMCA がどう良い協働を行うことができるかについて考えていただく機会となることを願っています。

多くの参加者のもと、友情を高め合い、刺激し合い、励まし合い、皆さんがアクションを起こしていただくエネルギーを供給できるような大会になることを願っています。

仙台でお会いすることを楽しみにしています。

山田　敏明
第 28 回アジア太平洋地域大会
大会実行委員長

本年７月19～21日に、「Action！前に進もう」をテーマに、「杜の都」仙台の地で、第 28 回アジア太平洋地域大会を開催します。東西日本区が力を合わせ、皆様をホストします。

皆様からの東日本大震災の際の緊急支援並びに長きにわたる復興支援に感謝いたします。また、当地の未来の展望を掲げて、みんなで大会を盛り上げ、皆様が何かを感じ、次に進める、そして行動に繋がる大会にしたいと思います。

多くの皆さんの参加で、ワイズの良さが溢れる大会にしましょう。

日本の東北の中心都市、仙台の地でお待ちしています。

大会概要

大会趣旨

今大会のテーマ、「Action！前へ進もう」とは、仙台を始め東北地方を中心に被災した「東日本大震災」により、今も多くの方々が悲しみの中にあるものの、その被災者の方々が、共に助け合い復興のために活動をされている現状を直接見ることで、今後、我々に何ができるのかを、参加者一人一人が考え、行動に移して頂きたいという願いを込めて考えたものです。

大会プログラム

このために、本大会のプログラムでは、大きく分けて以下の３項目を中心に準備を進めています。

1. 被災した方々のこれまでの活躍を理解し今後のサポートのあり方を考える。

地震と津波により被災をし、復興に携わって来られた YMCA スタッフやワイズ、さらに地元ボランティアを交えたトークショーと、復興をテーマにした歌や映像を交えて、被災から復興までの流れを理解し、今後のサポートを考えるきっかけとします。

2. 被災地を訪れ、復興の状況と現在と今後の課題を理解する。

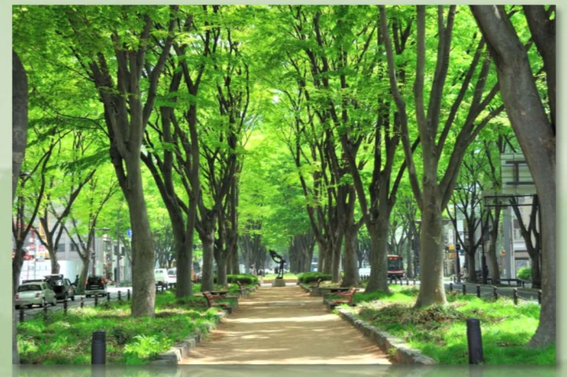
２日目は、１日かけてバスツアーにより被災地訪問を行い、復興の今を体験します。バスの移動中には、語り部による貴重な体験談を聞きくことで被災地の理解を深めつつ、現在の課題、及び今後の課題を考えます。

3. 名所訪問や食を通して地元の方々と交流する

仙台の名所訪問や豊かな食と地元の名産品の買い物体験等をとおして、地元の方々との交流を楽しみながら、現在の仙台の理解を深め、今後、我々の可能な復興支援の在り方を考え、大会後の具体的な復興支援に向けた行動を促します。

仙台市のご案内

自然の中に大都市としての景観と、城下町の面影を調和させ、「杜の都」の名で親しまれる仙台市について、以下にご案内をさせて頂きます。



定禅寺通

交通アクセス

様々な交通アクセスの良さが仙台のセールスポイントです。東京から東北新幹線で約 91 分という便の良さに加え、日本の主要都市と国内定期便を持つエアラインのほか、高速道路、フェリーによって、国内各都市と結ばれています。

歴史

仙台藩初代当主である伊達政宗公は、1601（慶長６）年、青葉山に仙台城（青葉城）を築城。その後支倉常長の遣欧、石巻開港など様々な大事業を行い、城下町は大いににぎわいました。さらに政宗公は文禄の役への参戦を機に、荘厳華麗な桃山文化に大きな影響を受けました。市内には、当代随一の巨匠を招き造営した、「国宝・大崎八幡宮」や「陸奥国分寺薬師堂」、70 歳で生涯を閉じた仙台藩祖伊達政宗公の遺命により造営された霊屋（おたまや）「瑞鳳殿」など、豪華絢爛な政宗公ゆかりの史跡が多く残されています。

仙台藩初代当主伊達政宗公

自然・景観

季節ごとに表情豊かな景観に出会えるのも仙台の魅力。市内中心を流れる広瀬川は両岸に自然が多く残され、杜の都の象徴であるケヤキ並木が四季の移ろいとともに見事な景観で訪れる人の心を和ませます。また市街地から車で 30 分～1 時間程度の秋保・作並・泉の各地域では、秋には鮮やかな錦の紅葉絵巻が織りなす圧巻の峡谷美が楽しめます。さらに２０１５年 12 月には地下鉄東西線が開業。東西線は西の青葉山や都心を通り、仙台港を臨むむ東部の産業・農業地域までを結ぶ路線であり、自然を堪能しつつ、史跡や観光施設巡りがますます便利に快適に楽しめるようになりました。

広瀬川

イベント

仙台は年間を通じて様々なイベントが行われる魅力いっぱいの街。春には街中を武者行列と山鉾巡行やすずめ踊りが演舞される「仙台・青葉まつり」が、夏には東北三大祭りのひとつ「仙台七夕まつり」が行われ、華やかな七夕飾りが街を彩ります。「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」は毎年 9 月に行われる音楽祭。街全体がステージとなって多くのバンドが出演し、杜の都が音楽で溢れます。

仙台七夕祭り

食事

古くから米どころとして知られる仙台は、東北随一のグルメタウン。仙台生まれの美味いもん「伊達美味」（だてうま）は、仙台の風土と仙台の人・技・心に育まれた味わいの数々。市街地にはいまや全国的な知名度を誇る「牛たん焼き」など、ご当地グルメが味わえる名店が多数点在。また、市内近郊には塩釜港や石巻港など日本屈指の漁港があり、四季を通じて鮮度抜群のさまざまな海の幸が味わえます。「仙台づけ丼」は、豊富な魚介類と宮城米を使用したおすすめの一品です。お土産の定番「笹かまぼこ」は、仙台藩主伊達家の家紋「竹に雀」の笹にちなんだとも言われ、その店ごとに特色ある様々な味が楽しめます。

牛たん焼き